



2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月2日

上場会社名 アヲハタ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2830 URL http://www.aohata.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 範雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 清水 正史 TEL 0846-26-0111
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 2020年8月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績（2019年12月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	10,351	1.3	289	57.6	273	20.3	151	9.4
2019年11月期第2四半期	10,219	△9.7	183	△70.8	227	△65.3	138	△69.1

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 147百万円 (4.1%) 2019年11月期第2四半期 142百万円 (△68.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	18.32	—
2019年11月期第2四半期	16.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	20,762	12,069	58.1
2019年11月期	19,521	12,013	61.5

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 12,069百万円 2019年11月期 12,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2020年11月期	—	10.00	—	—	—
2020年11月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年11月期の連結業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	8.5	800	59.6	830	84.7	580	145.9	70.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期 2 Q	8,292,000株	2019年11月期	8,292,000株
② 期末自己株式数	2020年11月期 2 Q	13,922株	2019年11月期	13,922株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期 2 Q	8,278,078株	2019年11月期 2 Q	8,278,078株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が制限され、個人消費が停滞するなど景気が下押しされる厳しい状況となりました。食品業界におきましては、全国一斉休校や外出自粛要請などにより外食需要は落ち込み、一方、内食需要は高まるとともに消費者の節約志向もさらに強まりました。

このような状況のもと、当社グループは2019年度からの3年間を対象とする中期経営計画に基づき、「フルーツのアヲハタ」をテーマとして、引き続き取り組みを進めております。また、従業員の健康維持のため、海外生産拠点も含めて新型コロナウイルス感染リスクの抑制に取り組み、安全・安心な商品の安定供給に努めております。

売上につきましては、ジャムやホイップ・スプレッドなど「家庭用」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外出自粛が続き、巣ごもり消費などの内食需要が高まったこともあり伸長しました。一方で「産業用」は、新規受注の拡大が進まなかったことに加え、お土産品や贈答品向け商品の販売が減少したこと、また、「生産受託他」の業務用ポーションジャム等の販売が減少したことによって、売上高は103億51百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

利益につきましては、「産業用」および「生産受託他」の売上高が減少したものの、「家庭用」の売上高が堅調に推移したことで営業利益は2億89百万円（前年同期比57.6%増）、海外の現地通貨安による為替差損の影響などにより経常利益は2億73百万円（前年同期比20.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億51百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億41百万円増加し207億62百万円となりました。資産の増減の主な要因は、原材料及び貯蔵品の増加5億61百万円、受取手形及び売掛金の増加5億10百万円、商品及び製品の増加2億63百万円、商標権の減少1億5百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億84百万円増加し86億92百万円となりました。負債の増減の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加10億円、短期借入金の増加6億円、支払手形及び買掛金の増加3億79百万円、長期借入金の減少11億42百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し120億69百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加60百万円などです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、8億3百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億27百万円（前年同期比5億83百万円の収入増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益2億73百万円、減価償却費5億3百万円、売上債権の増加額5億8百万円、たな卸資産の増加額8億51百万円、仕入債務の増加額3億82百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、5億18百万円（前年同期比26億76百万円の支出減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出4億94百万円、その他による支出26百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、3億66百万円（前年同期比27億16百万円の収入減少）となりました。主な要因は、短期借入金の純増加額6億円、長期借入金の返済による支出1億42百万円、配当金の支払による支出90百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月9日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化、深刻化した場合、当グループの業績に影響を与える可能性があります。現時点で今後の動向を見通すことは困難であるため、業績予想においてはこれによる影響を見込んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,111	803,178
受取手形及び売掛金	4,097,310	4,608,245
商品及び製品	1,568,838	1,832,467
仕掛品	45,273	51,676
原材料及び貯蔵品	2,873,883	3,435,851
その他	328,992	274,526
貸倒引当金	△3,410	△3,700
流動資産合計	9,754,998	11,002,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,053,565	2,111,977
機械装置及び運搬具(純額)	2,813,581	2,845,854
土地	1,370,980	1,367,476
その他(純額)	298,909	326,530
有形固定資産合計	6,537,036	6,651,839
無形固定資産		
商標権	1,898,415	1,792,879
その他	316,647	275,650
無形固定資産合計	2,215,063	2,068,530
投資その他の資産		
投資有価証券	196,293	192,361
その他	817,899	847,381
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	1,014,163	1,039,713
固定資産合計	9,766,262	9,760,082
資産合計	19,521,261	20,762,329
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,775,725	2,155,482
短期借入金	1,400,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	285,852	1,285,852
未払金	598,295	704,842
未払法人税等	70,085	175,387
売上割戻引当金	7,510	7,874
賞与引当金	29,035	62,787
役員賞与引当金	2,757	6,605
その他	258,380	343,926
流動負債合計	4,427,640	6,742,757
固定負債		
長期借入金	2,428,296	1,285,370
退職給付に係る負債	591,633	603,526
資産除去債務	59,884	59,963
その他	802	802
固定負債合計	3,080,615	1,949,662
負債合計	7,508,256	8,692,419

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	915,100	915,100
資本剰余金	1,305,894	1,305,894
利益剰余金	9,879,413	9,940,008
自己株式	△15,760	△15,760
株主資本合計	12,084,647	12,145,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,352	4,643
繰延ヘッジ損益	9,805	1,928
為替換算調整勘定	△65,981	△57,362
退職給付に係る調整累計額	△25,818	△24,543
その他の包括利益累計額合計	△71,642	△75,333
純資産合計	12,013,005	12,069,909
負債純資産合計	19,521,261	20,762,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
売上高	10,219,093	10,351,077
売上原価	7,583,180	7,529,974
売上総利益	2,635,913	2,821,102
販売費及び一般管理費	2,452,417	2,531,908
営業利益	183,495	289,194
営業外収益		
受取利息	1,199	1,773
受取配当金	45,836	52,002
受取賃貸料	11,014	11,008
その他	15,885	20,634
営業外収益合計	73,936	85,419
営業外費用		
支払利息	5,495	6,654
賃貸費用	5,938	5,929
固定資産除却損	4,839	1,578
為替差損	7,200	86,133
固定資産廃棄損	6,410	—
その他	31	708
営業外費用合計	29,915	101,005
経常利益	227,516	273,608
税金等調整前四半期純利益	227,516	273,608
法人税、住民税及び事業税	97,056	151,990
法人税等調整額	△8,215	△30,036
法人税等合計	88,841	121,953
四半期純利益	138,674	151,654
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,674	151,654

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）
四半期純利益	138,674	151,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,552	△5,708
繰延ヘッジ損益	△5,763	△7,877
為替換算調整勘定	17,151	8,619
退職給付に係る調整額	△369	1,275
その他の包括利益合計	3,465	△3,691
四半期包括利益	142,140	147,963
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,140	147,963

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	227,516	273,608
減価償却費	454,783	503,376
賞与引当金の増減額(△は減少)	39,470	33,752
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3,707	3,848
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,490	14,896
売上割引引当金の増減額(△は減少)	472	364
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,108	290
受取利息及び受取配当金	△47,036	△53,776
支払利息	5,495	6,654
為替差損益(△は益)	7,232	85,905
固定資産除却損	4,839	1,578
有形固定資産廃棄損	6,410	—
売上債権の増減額(△は増加)	△243,353	△508,099
たな卸資産の増減額(△は増加)	△604,275	△851,783
仕入債務の増減額(△は減少)	122,887	382,175
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△344,165	54,772
その他の流動負債の増減額(△は減少)	15,741	187,258
その他	△20,661	△25,043
小計	△379,555	109,778
利息及び配当金の受取額	46,002	51,164
利息の支払額	△6,160	△6,666
役員退職慰労金の支払額	△3,000	—
法人税等の支払額	△132,326	△51,857
その他の収入	19,266	24,928
営業活動によるキャッシュ・フロー	△455,772	127,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△951,646	△494,005
無形固定資産の取得による支出	△2,226,938	△2,852
有形固定資産の除却による支出	△6,410	—
有形固定資産の売却による収入	10,786	4,709
投資有価証券の取得による支出	△145	△186
長期貸付けによる支出	△29,196	—
長期貸付金の回収による収入	7,812	—
出資金の回収による収入	1,250	—
その他	△702	△26,303
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,195,190	△518,638
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300,000	600,000
長期借入金の調達による収入	2,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△142,926	△142,926
配当金の支払額	△74,107	△90,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,082,966	366,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,989	△16,006
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△564,007	△40,933
現金及び現金同等物の期首残高	1,273,117	844,111
現金及び現金同等物の四半期末残高	709,110	803,178

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

共通支配下の取引等

当社は、2020年5月27日付で、当社の完全子会社であるSantiago Agrisupply SpAに対し当社の金銭債権を現物出資し、増資を引き受けております。

1. 取引の概要

（1）結合当事企業の名称およびその事業の内容

結合当事企業の名称：Santiago Agrisupply SpA

事業の内容：農産物の加工販売

（2）企業結合日

2020年5月27日

（3）企業結合の法的形式

貸付金の現物出資による株式取得（デット・エクイティ・スワップ）

（4）結合後企業の名称

名称の変更はありません。

（5）取引の目的を含む取引の概要

当社は、Santiago Agrisupply SpAの財務体質の改善を目的とした同社の増資を、デット・エクイティ・スワップによる方法で引き受けております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価（現物出資の対象となる債権の額面総額） 2,048百万CLP(274百万円)

取得原価 2,048百万CLP(274百万円)